

## 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

## 第19回賢明な利活用及び地域振興検討合同部会 議事要旨

日 時：令和元年11月27日（水） 13時30分～15時15分

場 所：栃木市藤岡遊水池会館（2階）大会議室

出席者：別紙出席者一覧表（構成員：38団体中22団体（37名）

オブザーバー：4団体中0団体（0名）

## &lt;議事要旨&gt;

※当部会については、栃木市が事務局を務めることとなっており、栃木市が部会長を担当。

栃木市遊水地課青木主査が司会進行。

## (1) 開会

- ・司会より開会の辞

## (2) 挨拶

- ・本会の部会長を務める、栃木市遊水地課 田中課長より

## 【部会長】

- ・9月25日に開催された、第18回の合同部会において、承認された活動計画の進捗等を説明する。
- ・皆様の意見をいただきながら進めていくので、よろしく願いたい。

## (3) 議題の(1)「具体的テーマについて」

## 【議長】

- ・事務局より説明をお願いしたい。

《①ヨシ焼きの継続実施・ヨシの新たな利用について》

## ○事務局

- ・資料1に基づき、今後の部会の進め方について説明。
- ・ヨシ焼きの人手不足について、渡良瀬遊水地利用組合連合会と栃木市にて打合わせを実施。現在、人手は不足していないとのこと。また、ボランティアの受入体制が整っていないことによりボランティアの募集は見送ることとした。
- ・今回はボランティアの募集は行わないが、今後も将来的にヨシ焼きが継続できるよう対応策を検討していく必要がある。
- ・各市町で予定していたボランティア募集の広報紙、HPでの周知は中止とする。
- ・ヨシの新たな利用については、栃木市ではヨシ細工づくり体験などを行っており、昨年からハーランド城でヨシ灯り展も実施。作品づくりのためのワークショップも併せて開催した。
- ・ペレット化については、小山市が整備を予定している拠点施設のストーブの燃料として使えるよう進めている。宮城県にある蕪栗沼でヨシをペレット化する取り組みも行われている。
- ・この合同部会においても、新たな利用についてのアイデア等の提案をいただきたい。
- ・ヨシ焼きチラシの校正については、今年の合同部会での意見を踏まえ、前回のチラシで修正しきれなかった点を加えて案を提示した。
- ・チラシの意見等については、12月10日までに栃木市遊水地課へメール又はFAXにて報告していただきたい。それを反映したものを次回1月の合同部会に修正案の報告をする。

## ○議長

- ・説明内容等を含めご意見・ご質問があればお願いしたい。

(主な意見等)

- ・わたらせ市民フォーラムの提言でも記してあるとおり、ヨシ焼きは継続して実施してほしい。ボランティアの育成は難しいことは理解している。そのため、研修にも時間をかけて準備、講習を行ってほしい。ボランティアの方は全体の1~2割程度入ってくればいいのでは。
- ⇒連合会との話し合いで、ヨシ焼き前日以外であれば、勉強会・研修会については協力してもえるとのこと。
- ・利根川上流河川事務所へ申請して遊水地内のヨシを刈っている人たちがどれだけいるのか。資料等があればいただきたい。

⇒確認する。次回の合同部会で報告したい。

《②「自然観察会と周辺地域の周遊等」を組み合わせた有償ツアーの開発と実施》

○利根上 近田係長より 11月10日実施されたのツアー結果報告

○小山市渡良瀬遊水地エコツーリズム・ガイド協会門馬会長より参加報告

- ・全体的な行程、時間配分は適切であった。
- ・史跡保全ゾーンに入れなかったのは少し残念。(入るコースだったとしても台風の影響により結果としては入れなかった)
- ・40名で催行されたとすると、行程がスムーズにいくかどうか疑問。
- ・機場に入れたことや越流堤に登れたことは非常に貴重な体験だった。

○議長

- ・説明内容等を含めご意見・ご質問があればお願いしたい。

(主な意見等)

- ・実施結果概要報告の資料「3. 効果」の中の「さらなる創意工夫」とはすでに案があるのか。また、今回の案内は利根上の職員が対応したが、今後はどのように考えているのか。
- ⇒旅行会社による催行人数、行程内容等について検証が必要。今回は小山市渡良瀬遊水地エコツーリズム・ガイド協会門馬会長に別枠として参加してもらった。部会②で進めている案内資料を活用し、案内できる人材を育成していく予定。
- ・河川管理施設の説明は河川管理者でないとうまくできないと思われるので、今度検討していただきたい。
- ・ツアーに関してご意見等があれば、12月10日までに栃木市遊水地課へ連絡をいただきたい。

《③「ヨシ焼き火入れ体験と周辺地域の周遊等」を組み合わせた有償ツアーの開発と実施》

○事務局

- ・3月実施のヨシ焼きに併せて1月にツアーの募集を開始する予定。内容については、1月の合同部会で報告予定。
- ・②のツアーと同様に、ツアー全体の案内をできる人材の確保についても検討していきたい。
- ・このツアーに関してもご意見等あれば12月10日までに栃木市遊水地課まで。
- ・受入体制の整備に関してレンタサイクルの相互乗り入れについて情報共有を行った。例えば、アクリメーション所有の自転車が野木町のホフマン館に返却された場合に、アクリメーションとして個別で回収等の対応が可能かどうか伺いたい。
- ⇒基本的にアクリメーションで管理している自転車はそれぞれの貸出拠点で管理している。管理している自転車が違う拠点へ返却された場合は連絡が入り、そこへ回収しに行く体制となっている。例示された話でいくと、野木町さんと連携がとれれば、ホフマン館へアクリメーションが自転車を回収しに行くことは可能である。
- ・各運営主体間で合意形成がとれれば、東西で分かれている状況が解消できることになるので、今後も検討を進めていきたい。

○議長

- ・説明内容等を含めご意見・ご質問があればお願いしたい。

(主な意見等)

- ・貸した側が責任をもって回収するシステムが出来れば、4市2町共通で自転車による乗り入れができるようになる。利用者の立場からしても、ぜひ進めていただきたい。

- ・火入れ体験ツアーの内容について、今の段階で決まっている案があれば教えてほしい。

⇒今回実施したツアー結果を基に、ヨシ焼き体験ツアーの商品化が可能かどうか検討しているので、火入れ体験等の詳細は未定。

(4) 情報交換

- ・利根川上流河川事務所より「東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた水の安定供給のための渇水対応行動計画を策定」について説明

- ・小山市より「渡良瀬遊水地探鳥バスツアー」について説明

- ・栃木市より「チュウヒのねぐら観察会」について説明

(5) その他

○質疑等

- ・旧谷中橋から野渡橋まで通行できない、また谷中ブロックの東側に入れませんが通行解除はいつごろになりそうか。谷中ブロックの観察台が立入禁止になっているので、周囲の状況を伺いたい。

⇒台風 19 号の影響により土砂が路面を覆っている状況で現在取り除いている。順次、解放しているが、観察台は年内を目途としている。野渡橋周辺については未定。

- ・今回のツアーでは機場の中にも入ることができていてよかった。今後もそういった機会をつくっていただけるとありがたい。

⇒個人で入ることは難しいので、団体での出前講座や勉強会等といった目的で相談いただければ。

- ・前回の部会で挙げた提案事項について、今回の部会では何もないが、今後どうなっていくのか。

⇒前回はご意見として何うと申し上げた。今後可能なのかという点も含めて検討が必要。この部会

①での検討事項なのか部会②での検討事項なのかも検討する必要がある。

- ・その他、特になければ、終了としたい。

(6) 閉会

- ・司会より閉会の辞